

# ひょうごの 赤十字



2016. 12月  
December



特集

「海外たすけあい」が  
はじまりました

名誉総裁皇后陛下から日本手拭いを御下賜  
多様化する災害に備えて  
災害救護支援センター着工  
親子で学ぶ災害から命を守る備え  
ナースキャップから感じる責任の大きさ  
講習のご案内

 日本赤十字社 兵庫県支部  
Japanese Red Cross Society

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目4番5号



078-241-9889



赤十字 兵庫

検索





# 「海外たすけあい」が はじまりました



ここから約8,900km先に、  
戦禍を見つめる少女がいる。

戦争、災害、病気で苦しむ人びと、  
みんな、助けられています。



NHK 海外たすけあい募金 12月1日 - 25日

破壊し尽くされた街の中で逃げることもできず息を潜めて暮らす人びと、突然の空爆や砲撃ですべてを失い祖国を後にする難民—

世界で苦しむそうした人たちに支援を行うため、日本赤十字社とNHKが共同で取り組む募金キャンペーン「海外たすけあい」。

今年も12月1日から25日まで全国で協力を呼び掛けます。

皆さまからお寄せいただいた募金は、①紛争で苦しむ人びと、②災害で苦しむ人びと、③病気で苦しむ人びとの支援に役立てられます。

皆さまの温かいご協力が世界で苦しむ人びとを救います。

## 募金方法

### ご持参の場合

日本赤十字社兵庫県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK放送局、  
但馬銀行および農協、漁協の窓口など

### お振込みの場合

郵便局・ゆうちょ銀行

口座記号番号:01110-0-1136

口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部

※通信欄に「海外たすけあい」とご記入ください

## 街頭募金

12月 3日 (土)	JR芦屋駅
10日 (土)	JR神戸駅
17日 (土)	JR三ノ宮駅
23日 (金・祝)	JR姫路駅

※いずれも13時から15時まで

## 兵庫県支部の国際活動

### 中東地域紛争犠牲者支援事業

シリア紛争で多くの難民が流入している隣国ヨルダンで、シリア難民や難民の受け入れにより影響を受ける地元の人たちが健康でいられるよう、病気予防や早期対応のための知識の普及や支援のために派遣していた姫路赤十字病院の高原美貴看護師が、任務を終了し帰国しました。終わりの見えない紛争にすべてを奪われてしまった難民の皆さんとの出会いを通じて、「たまたま平和な国の平和な時代に生まれたからといって、私たち日本人が見て見ぬふりをしているはずがない」と高原看護師は語っていました。  
派遣期間:平成27年6月～平成28年9月



ボランティアと家庭訪問する  
高原看護師 (左)

### フィリピン保健医療支援事業

日本赤十字社が2005年から支援活動を行っているフィリピン共和国へ、神戸赤十字病院の三嶋千恵看護師を派遣しています。医療過疎地でいのちと健康を守るためには、地域の保健衛生や医療環境の改善が不可欠です。三嶋看護師は、日赤の援助で行われている住民へ衛生知識を普及する地域ボランティアの育成、保健衛生設備の整備などの事業の進捗状況確認、事業の実施、遂行にかかる現地赤十字社への支援にあたり、支援が地域に根付き、住民の力により継続されることを目指します。  
派遣期間:平成28年11月～平成29年5月(予定)



出発式で激励される  
三嶋看護師 (左)

## 名誉総裁皇后陛下から日本手拭いを御下賜

### 赤十字病院

### ～多可赤十字老人保健施設～

日本赤十字社名誉総裁の皇后陛下のお誕生日(10月20日)を記念して、多可赤十字老人保健施設に日本手拭いが下賜されました。

お誕生日に合わせ、10月20日に入所されている代表の方にお渡しした後、皆さんにお配りしました。皆さんからは、「ありがたく頂戴いたします。大切にに使わせていただきます」「もったいなくて使えません」など、皇后陛下に感謝と喜びを表す言葉が聞かれました。

9月に秋篠宮同妃両殿下のご視察があったこともあり、皇室をより身近に感じられた方もいらっしゃったようです。



いのちと健康を守る赤十字活動は、  
皆さまからお寄せいただく活動資金で成り立っています

### 活動資金にご協力をお願いします

郵便局・ゆうちょ銀行からもご協力いただけます

口座記号番号:01110-0-1136

口座加入者名:日本赤十字社兵庫県支部

※窓口で取扱いの場合、振込手数料は無料です。





国内災害救護

## 多様化する災害に備えて

近年の災害は、地震災害に加え豪雨による水害、火山噴火による災害、列車事故などの交通災害など多様化すると共に大規模・広域化しています。

兵庫県支部では、多様化する災害に対応した災害救護活動がただちに展開できるよう、救護員研修に取り組んでいる他、他機関との連携を図るために兵庫県や各自治体、公共団体などが実施する訓練へ積極的に参加しています。

11/11

### 姫路駅周辺・都市型災害対応訓練

観光客が多く訪れる姫路駅周辺で、直下型大地震を想定した訓練が行われ、兵庫県支部と姫路赤十字病院が参加。他の医療機関や関係機関と連携し、治療の優先順位を判断するトリアージや救急搬送など一連の動作を確認しました。



11/13

### 南海トラフ地震 住民一斉避難訓練・合同防災訓練

世界津波の日関連事業として、南海トラフ地震による津波に備え、津波浸水想定区域のある15市町を対象とした広範囲な訓練が行われました。淡路市会場では、兵庫県支部と多可赤十字病院が地元医師会などと協力し、負傷者の救護に取り組みました。神戸空港会場では、神戸赤十字病院DMAT(災害派遣医療チーム)が、SCU(広域搬送拠点臨時医療施設)設置訓練に参加。各会場からヘリコプターで搬送されてきた重症者のトリアージや、後方病院に搬送するまでの手順を確認。その他、南あわじ市会場では救急法ミニ講習会を、神戸市会場では活動パネルや救援物資などの展示を行いました。



負傷者の聴覚障がい者から、救護所における災害弱者への対応についてアドバイスを受ける多可赤十字病院の救護班

11/15

### 大阪国際空港航空機事故対策総合訓練

航空機事故が発生した場合に備えた訓練が大阪国際空港で行われ、兵庫県支部と神戸赤十字病院が参加。救助隊によって機内から救出された負傷者が次々と担架で運び込まれる救護所で、応急手当や救急隊と後方搬送のための手順確認などを行いました。また、今回の訓練には乗客を落ち着かせるメンタルケアが初めて導入され、看護師がこころのケアを行いました。



「怖い」と訴える乗客役に寄り添い、こころのケアを行う看護師

### 赤十字防災ボランティアも訓練を実施

10月16日、兵庫県支部となぎさ公園を会場に、赤十字防災ボランティア総合防災訓練を開催し、災害発生時にいち早く活動できるよう、ボランティアセンターの円滑な運営や資機材の取扱いを学んでいただきました。



国内災害救護

## 災害救護支援センター着工

近い将来の発生が確実視されている南海トラフ地震や巨大広域災害に備え、今年度、三木市に整備を計画している「災害救護支援センター」が着工。11月19日には施工業者による安全祈願も行われました。「災害救護支援センター」は、ライフラインの壊滅や道路網の寸断が迅速な救護活動の妨げとなった過去の災害の経験から、被災地想定地域(臨海部)の後背地に整備。発災時は、全国各地の被災地に対する支援や全国からの受援の拠点に、平時は、赤十字をはじめ兵庫県などが実施する救護・防災研修、施設見学などに有効活用してまいります。



外観パース





# 親子で学ぶ災害から命を守る備え

～青少年赤十字キッズ・防災デーを開催～

10月23日、青少年赤十字加盟校の幼稚園・保育園の年長から小学2年生までの子どもと保護者を対象にした「青少年赤十字キッズ・防災デー」を兵庫県支部にて開催し、親子約50人が参加されました。講師の話や自分の考えを発表しながら、自分のいのちを守るためにはどうすればいいのか学んだ他、心肺蘇生の方法やAEDの使い方も体験。キッズ・防災デーの2日前に鳥取で震度6弱の地震があり、揺れや避難を経験した子どもたちも多かったことから、他人ゴトではなく自分ゴトと捉え真剣に取り組む姿がみられました。保護者からは「これを機会に、防災や救命について家族で話し合いの機会を持つとうと思いました」「子どもが赤十字活動に興味を持ちました」などの感想がありました。



AEDの電極パッドを貼る位置を確認する参加親子



# ナースキャップから感じる責任の大きさ

～姫路赤十字看護専門学校で戴帽式～



10月25日、姫路赤十字看護専門学校で118回生の戴帽式が行われ、1年生42人が真新しいナースキャップを戴きました。看護師として人の命を預かる仕事に従事していくことを自覚させるという深い意味がある戴帽式。4月に入学して看護を学び始めた学生たちは、ナースキャップの重みと看護師という職業の責任の大きさを実感し、凜としていました。これから、患者さんとの関わりに悩み、時には看護師を目指すことに迷いを感じることもあるかもしれません。その時には、この厳かな戴帽式で抱いた気持ちを思い出し、共に支え合いながら、患者さんに寄り添える看護師になってくれることを願っています。

## 講習のご案内

救急法基礎 (1日受講)	救急法救急員養成 (2日間受講)	救急法基礎・救急員養成 (3日間受講)	健康生活支援 (3日間受講)
2/11(土)祝 13:00～17:30	2/25(土)・26(日) 9:30～17:30 ※受講対象は基礎講習修了者	1/21(土)・28(土)・29(日) 9:30～17:30	2/12(日)・18(土)・19(日) 10:00～15:30(最終日は16:00まで)

科目別講習 講習の一部のテーマを短時間で習得できます。			
幼児安全法	子どもの病気と看病のしかた 1/22(日) 10:00～12:00	幼児安全法	乳幼児の一次救命処置(PBLS) 1/22(日) 13:00～15:00
幼児安全法		幼児安全法	乳幼児の災害時支援 2/5(日) 10:00～12:00

◇申込期日は開催日(初日)の1カ月前までです。 ◇会場は日本赤十字社兵庫県支部です。  
お問い合わせは、お電話またはホームページで ☎ 078-241-1499 (講習係)

## 救急法ミニ講習会イベントを開催しました

10月22日、イオン明石ショッピングセンター(明石市)にて、救急法ミニ講習会イベントを開催。37人の方々に心肺蘇生とAEDの使い方を体験いただきました。

